

御岳山上でのイベント「薪神楽」に伴い ケーブルカーを臨時運行します

京王グループの御岳登山鉄道株式会社(本社:東京都青梅市、社長:鎌田政信)では、御岳山商店組合(組合長:佐野佳宏)が主催する「レンゲショウマまつり」期間中(7月16日(土)~9月11日(日))に開催されるイベント「薪神楽」にあわせて、下記の通りケーブルカーを臨時運行いたします。

幻想的なかがり火の光の中で、日本人が神と共に楽しんだ神楽をぜひこの機会に鑑賞されてみてはいかがでしょうか。

記

【薪神楽の日程】 2022年7月16日(土)、20時開演、21時終演予定

※2022年9月10日(土)にも開催されます

【開催場所】 武蔵御嶽神社鳥居前広場屋外特設ステージ

※雨天時は武蔵御嶽神社神楽殿での開催となります

【ケーブルカー】 行き帰りの2本臨時便を運転

行き:滝本駅 19時00分発 帰り:御岳山駅 終演にあわせて21時30分頃発

【交通】

●電車・バスのお客様

臨時ケーブルカーに接続する JR 御嶽駅行のバスはございませんのでご注意ください。御岳山山頂には宿坊が24軒ございます。宿泊に関するお問合せは「御岳山観光協会」のホームページをご覧ください。

●お車でお越しのお客様

滝本駅駐車場は通常19時閉門ですが、臨時ケーブルカー運転にあわせて臨時営業(21時45分頃閉門)します。宿坊にご宿泊で、滝本駅駐車場をご利用の場合、1,000円の割引がございます。駐車券を宿坊にお持ちになり証明印を貰い、出庫前に滝本駅のスタッフに駐車券をご提示いただきますと割引認証をします。

【お問合せ】 御岳登山鉄道(株) TEL0428-78-8121(9:00~17:00)

【その他】感染症拡大の状況次第ではイベントの中止、または予告なく臨時ケーブルカーの運転を見合わせる場合がございます。イベント中止の際、御岳山商店組合ホームページでお知らせします。

2ページ目に続きます

参考

●薪神楽について

武州御嶽山頂に鎮まる武蔵御嶽神社に伝わる太々神楽。神社の御師(神主)により伝承され、昭和32年4月に東京都無形民俗文化財に指定されました。最も格式の高い参拝方法として神前に奏上され、神様にご覧いただくことでご神慮をお慰めし、併せて参拝者にも拝観いただくものです。本来は神様に奉納される舞が、夜神楽(薪神楽)として特別にご覧いただけます。月明かりに映える神社(かがり火に照らされた舞台)で、神様と共に舞を楽しみ、神人和楽をその肌で感じてみてください。

【今回の演目】※演目に変更する場合がございます

●奉幣(ほうへい)

素面の神楽に分類されますが、現在は翁の面を付けて舞います。舞台の中央と四方に幣(みてぐら)を捧げる神楽で、能の三番叟のように最初に必ず演じて舞台を祓い清めます。

●稲荷(いなり) 種かし

稲荷明神は食物を司る神でうけもちのかみ保食神ともいわれます。保食神(うけもちのかみ)の口が国に向かえば飯が出、海に向かえば魚が出、山に向かえば獣が出る。天照大御神(あまてらすおおみかみ)はこれを人々の食物と定めました。この神話に狐の霊力を織り込み、神楽が構成されています。先ず稲荷明神が登場し、次に白狐、田人(火吹男(ひよっこ))が稲作を行います。火吹男は狐に化かされ、しだいに滑稽な事をはじめます。やがて火吹男は目覚めて、収穫された稲を独り占めするため、退治が登場して懲らしめます。最後に火吹男が神前に捧げたお下りの餅を皆様に投げ頒ちます。



今回演じられる稲荷



臨時運行する御岳山ケーブルカー

このニュースについてのお問い合わせは、御岳登山鉄道株式会社

【☎ 0428 - 78 - 8123 山本】までお願い致します。

このニュースは下記のところに配布しています。

●市政記者クラブ(立川) ●新聞社支局(立川・八王子・青梅・福生)